

2025 年 7 月 1 日

電気学会 産業応用部門 半導体電力変換技術委員会

委員長 藤井 幹介（富士電機株式会社）

企画担当 米田 昇平（東京海洋大学）

2025 年度 学生・若手技術者向け海外研究室見学及び技術交流会 参加者募集要項

国内の博士課程学生や若手技術者を対象として、海外研究室（研究所）の訪問機会を提供することを目的としています。この訪問を通じて、海外におけるパワーエレクトロニクスの研究の実情を実感してもらい、さらに、海外の研究者との交流を促すことで将来に繋がる双方の関係の発展を期待します。

1. ラボツアーの概要

アメリカ・フィラデルフィアにて開催される国際会議 ECCE 2025（10/19～10/23）にあわせて、Princeton University の Princeton Power Electronics Research Lab を訪問し、研究施設・内容の視察および技術交流会を開催します。

訪問先: Princeton Power Electronics Research Lab（Prof. Minjie Chen）

<https://www.princeton.edu/~minjie/>

2. スケジュール ※状況に応じて若干変更する場合があります

10/23 (木)	ECCE 終了後、学会会場周辺にて宿泊
10/24 (金)	午前 フィラデルフィアから Princeton University へ移動 午後 研究室訪問および技術交流会 14:00-15:00 ラボツアー参加者からプレゼン（日本側の研究者紹介） 15:00-17:00 ラボツアー（Princeton Power Electronics Research Lab の研究紹介、施設見学） 18:00-20:00 Prof. Minjie Chen および研究室メンバーとの夕食会 夜 フィラデルフィアまで移動・宿泊
10/25 (土)	フィラデルフィア国際空港（PHL）より各自帰国

10/24 のフィラデルフィアからプリンストンへの往復の移動手段は陸路を予定していますが、詳細は検討中です。また、夕食会会場も現在調整中です。決まり次第参加者に連絡します。

研究室訪問及び技術交流会は 10/24（金）の午後のみの実施予定です。宿泊・移動に関しては、参加者へ情報提供を行います。手配は参加者各自でお願いします。

3. 参加に必要な費用の目安

研究室訪問および技術交流会にかかわる費用は、基本的に参加者の自己負担となります。

- ・交通費：フィラデルフィア ～ プリンストン（往復） 20,000 円ほど
- ・宿泊費：フィラデルフィア市内のホテル（1 泊） 30,000 円ほど

- ・その他：夕食会も実費負担

4. 学生参加者に対する参加費用の助成

学生の参加者に交通費・宿泊費の補助として1人あたり60,000円を上限に、12名まで助成します。助成を希望する学生参加者が12名を超えた場合、状況に応じて助成対象者を選考するか1人あたりの支給額を減額します。また、助成を希望せずに参加することも可能です。

5. 参加者の応募資格と募集数について

- ・応募資格：電気学会 産業応用部門の学生員である学生（パワーエレクトロニクスを専攻）で、原則として技術交流会でのプレゼンテーションを引き受けることができる方
- ・募集数：最大12名程度（Princeton University側の受け入れ体制によって変更の可能性あり。）
※ ECCE 2025への参加や発表の有無は問いません。

6. 選考について

- ・参加者
希望者多数の場合は博士後期課程の学生、博士課程を志す修士課程の学生、若手技術者の順で優先します。ただし、参加者の研究テーマによっては優先順位を変更する場合があります。
- ・参加費用の助成
交通費・宿泊費として1人あたり60,000円を上限に助成します。ただし、かかった費用が60,000円以下の場合は支給額を減額し、実費支給とします。また、参加費の助成にあたり、交通費および宿泊費の領収書の写しを提出いただきます。

7. 募集期間と応募方法

- ・募集期間：2025年7月1日（火）～7月18日（金）
- ・応募方法：応募様式に必要事項を記入のうえ、メールに添付
- ・応募先：東京海洋大学 米田 昇平（komeda@kaiyodai.ac.jp）宛て（To フィールド）
※ ラボツアー中に問題が発生した場合、担当者が支援を行います但基本は自己責任となります。万一に備え、各自で海外保険に加入しておいてください。

8. 主催

産業応用部門 半導体電力変換技術委員会
委員長 藤井 幹介（富士電機株式会社）
企画担当 米田 昇平（東京海洋大学）

9. 共催

産業応用部門 国際委員会
PPEJ（Ph.D. candidates of Power Electronics in Japan）

以上

2025 年度 学生・若手技術者向け海外研究室見学及び技術交流会 記入例

[illegible]